4月22日よりの基準の見直し

陽性者が判明した際の学級閉鎖や一斉PCR検査について

◆ 以下は全て、陽性者が他者への感染が可能な期間に登校していた場合を前提としています。

- ① 学級で3日以内に3名以上の陽性者が判明した場合
- ② 感染者が1名でも、未診断の風邪等の症状がある者が複数いる場合
- ③ 感染者1名に対して、複数の濃厚接触者が存在する場合

→ 土・日を含む3日間の学級閉鎖

*学級閉鎖中に新たな感染者が2名以上出た場合5日間に延長

- ④ 学級および部活動で5名以上の陽性者が判明した場合（クラスターの疑い）

→ 当該学級および部活動の生徒の一斉PCR検査実施

→ 検査結果判明まで学級閉鎖、部活動の場合は当該生徒は出席停止

- ⑤ 校内で、1クラスでも学級閉鎖が実施されている場合

→ 期間中の部活動は中止

→ 公式戦が直前の部活動のみ、実施可能

【 大切なお願い 】

オミクロン株への感染は、通常の風邪と変わらない症状の場合もあります。「市販の薬を飲んだから大

丈夫。」「これくらい、ただの風邪だろう。」と考えて登校した生徒がオミクロン株に感染していた場合、周

りの生徒への影響が非常に大きなものになってしまいます。体調が悪い場合は、必ず医療機関に相談を

してください。